

| | | | |
|---|---------------------|-------------|------------|
| | 提 案 名 | 提 案 団 体 名 | |
| | | 代 表 者 氏 名 | 所 属 |
| 4 | 中心市街地におけるソノココモデルの導入 | 蓮家 | |
| | | 古川 真衣 | 宇都宮大学 教育学部 |
| | | 指導教官 氏 名 | 陣内 雄次 |

1 提案の要旨

提案の目標

中心市街地でソノココモデルを導入することは市民の力を活かし、市民の憩いの場をすることであり、地域コミュニティの活性化の糸口になると考えられる。さらには中心市街地の新たな魅力になり、その魅力によって商店が増え「買い物以外にも歩いていて楽しい中心市街地」へと変化することが期待できる。したがって私たちは市民の力を活かし、市民の憩いの場を作り、地域コミュニティの活性化の糸口をみつけるために宇都宮市の中心市街地におけるソノココモデルの導入を提案する。

現状の分析と課題

1) 中心市街地の重要性

中心市街地は<もの・人・資本>が集中し、魅力ある新しいものを生み出す(引き出す)力を持っているその都市の顔だと位置づけることができる。

2) 宇都宮の中心市街地の問題点・今後の方向性

宇都宮の中心市街地は幅広い年代が中心市街地を利用しているにも関わらず、店舗数の減少により宇都宮の中心市街地は活気がなく、寂しい印象を与える。

マイナスの現状を好転させ、理想の状態に近づけるためにはどうしたらいいのだろうか。一気に理想の状態に近づけることは困難だろう。何事も根本の部分がしっかりしていないと上に何かを築こうとしても、倒れてしまう。だからこそ中心市街地もまずは地域コミュニティの基盤を改善することが重要だと思われる。

施策事業の内容

ソノココのようなインキュベーション施設を作り、市民の力を活かし、市民の憩いの場を作る。

期待される効果

中心市街地でソノココモデルを導入することは市民の力を活かし、市民の憩いの場をすることであり、地域コミュニティの活性化の糸口になると考えられる。さらには中心市街地の新たな魅力になり、その魅力によって商店が増え、買い物以外にも歩いていて楽しい中心市街地へと変化することが期待できる。